

ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）の広がり

株式会社グッドバンカー
リサーチチーム

ソーシャル・インパクト・ボンド（以下 SIB）に関する最新のレポート¹によると、2010年9月に、イギリスで初めて設定された SIB が、アメリカ、オーストラリア、カナダ、アイルランドなど、イギリス以外の政府からも関心を集めています。特にアメリカでは、オバマ大統領が 2012 会計年度予算のなかで SIB 向けの資金を 1 億ドル（約 80 億円）盛り込むことを提案したほか、マサチューセッツ州が、州として初めて SIB の導入検討を正式に発表するなど、今後、取り組みが大きく進む可能性がありそうです。

SIB は、社会問題の解決に取り組む NPO 団体等に、民間の投資家からの資金を供給するための金融手法で、投資を受けた団体が取り組む社会問題の改善状況に応じて、政府が投資家に元金を支払います。ただし、期待する成果が得られなかった場合、政府は償還義務を負わないことから、SIB は「Pay-for-Success Bonds」とも呼ばれ、株式投資に近い性質を持っています。イギリスで設定された最初の SIB は、出所した受刑者の社会復帰を支援する活動に、投資家 17 機関が 8 百万ドル（約 6.4 億円）を投資し、再犯率の減少に応じて、刑務所の運営費等が削減されたとみなし、政府がリターンを還元する仕組みになっています。

同レポートによると、世界では、多くの国が財政難に苦しんでおり、さまざまな社会問題に対する予防的措置に十分な資金を提供できず、結果として、ホームレスのための救護施設や刑務所などの安全網整備にかかる支出が増すという悪循環に陥っています。

オバマ大統領が予算のなかで提案した SIB 向け資金は、職業訓練や教育、少年犯罪対策、障がい児支援など 7 つの分野を試験的に対象としており、マサチューセッツ州も、SIB を通じて、慢性的にホームレスの状態に陥ってしまっている人々への安定した住居の提供と、少年犯罪の再犯率を下げるための教育や雇用支援を検討しています²。予防的措置を充実させることで、社会問題の根本的な解決をめざす点が、SIB の特徴の一つです。

SIB による投資資金は、投資先の団体の活動を長期的に支え、また、投資によって得られた収益は、同様のプロジェクトに再投資することもできます。さらに、活動による成果の適切な評価を通じて、資金の受け手である団体の取り組みが活性化され、より効率的な資金の流れを作り出すことにもつながるでしょう。SIB が世界のさまざまな国・地域で導入が進み、実績とノウハウが蓄積されることによって、新たな金融手法としてどのように発展していくのか、注目していきます。

¹ Social Finance (2012 年 2 月) 「A New Tool for Scaling Impact: How Social Impact Bonds Can Mobilize Private Capital To Advance Social Good」

² マサチューセッツ州ニュースリリース (2012 年 1 月 18 日付) より